

Step 1

本文の七つの場面について、過去／現在のどちらの時制の話を書き入れよう。
また、()にあてはまる言葉を書き入れよう。

過去(回想)と現在のどちらの場面なのか、また、伏線につながる本文の表現を整理しよう。

時制

場面

本文の表現

()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	①	①	①	①
僕	僕	僕 タクジ	僕	タクジ 僕	タクジ 僕	僕	タクジ 僕	僕	僕	僕
<p>・「」のロボットは転んでも、自分で起き上がりまます。転ぶことはしかたがありません。 ()です。」という開発者の言葉に引掛かりを覚えた。 ・開発者が「皆さん、友人が来てくれました。」と言いつつ、()を呼んだ。 ・「」が僕に注目し、僕の顔は()になっていたにちがいない。 ・「」が僕に手を振るヒューマノイドロボットは、「」の()をわかっていようには とっついて見えなかった。</p>	<p>・駅に設置されたディスプレイ広告(「」) ()がはじける映像」が目に入り、 頭の中を小突かれたような気分になった。「僕」は自宅とは逆方向に行く列車に乗り込 んだ。</p>	<p>・「二十歳がダメなら、じゃあ、三十歳になったときにしようか。」とタクジの声が聞こえて きたけれど、立ち止まらなかった。 ・タクジが()を踏み潰し、チューブから色とりどりの中身が飛び出した。再びひつ くり返り、近くの同級生に()な滴が飛び散る。 ・タクジは立ち尽くし、耳まで()。 ・「僕がロボットを作るとしたら、() ()にはするね。」</p>	<p>・会議中、タクジが美術の時間に()した場面を思い出す。</p>	<p>・「もし僕がヒューマノイドロボットを作るなら、人間の() ()を理解できるよう にする。」と宣言するように言った。 ・「」()だけでも恥をかく。」</p>	<p>・「」()だけでも恥ずかしくなる。失敗したときだけではなく、 だろつ。」 ()があつて、何の役に立つん だろつ。」 ()気持ちなんて要らないじゃないか。そんな</p>	<p>・「僕が」 ()を作るとしたら、『飽きる』機能は付ける。」</p>	<p>・同級生Ⅱ ()の顔と言葉が浮かぶ。六月十日に会おう。じゃあ、三十歳になったと きに()。</p>	<p>・「人間は、()と思うようになってきていますから。」と口にしてはつとずる。Ⅱ十数年 前、同級生から聞いた言葉。</p>		